
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第33週
(8月10日～8月16日)

* 2009年8月19日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成21(2009)年8月20日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年33週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	51	67	61	41	2548	265	16510
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		5
	細菌性赤痢	2	1	1	3	26	7	108
	腸管出血性大腸菌感染症	18	22	15	10	149	103	1902
	腸チフス		1			10		19
	パラチフス	1	1			6		14
四類	E型肝炎					6	1	30
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					10		83
	エキノコックス症					1		15
	黄熱							
	オウム病					1		15
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2		106
	デング熱					12	1	40
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	48
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア			2	1	17	2	41
野兎病								
ライム病		1			1		4	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1	2	1	33	12	440	
レプトスピラ症							6	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		30週	31週	32週	33週	年累計	33週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	4	7	3	90	7	510
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1				25	1	141
	急性脳炎 *2	2				14	4	144
	クリプトスポリジウム症					1		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11		81
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				9		78
	後天性免疫不全症候群	18	10	9	11	322	13	931
	ジアルジア症	1			1	18	1	51
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							
	梅毒	5	2	5	1	130	1	447
	破傷風			1		4	1	64
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	9	2	60
	風しん			2		10		123
麻しん	3		3	1	81	10	560	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	47	200	248	216	935	—	4986
2009/8/19計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。
2009年7月24日以降は集団発生事例に関連した届出。

※3全国集計は7月24日6:00現在の国内発生数の累計値(検疫対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 41件 肺結核30件、その他の結核3件、肺結核及びその他の結核1件、無症状病原体保有者6件、疑似症患者1件で、推定感染地は全て国内、年齢は10歳代2件、20歳代1件、30歳代8件、40歳代8件、50歳代7件、60歳代2件、70歳代6件、80歳代5件、90歳代2件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 3件 全て患者で、菌種はフレキシネル1件、ソンネ2件である。推定感染地は国内2件(フレキシネル1件、ソンネ1件)、インドネシア(スラバヤ)1件(ソンネ)、推定感染経路は飲食物(焼肉又はスイカジュース・ココナツジュース)による経口感染2件、その他(不明)1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 10件 患者5件、無症状病原体保有者5件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)5件、O157(VT1)1件、O157(VT2)2件、O157(毒素型不明)1件、血清型不明(VT2)1件で、そのうちO157(VT1VT2)3件は同一施設による経口及び接触感染が疑われている。年齢は5歳未満1件、10歳代2件、20歳代4件、30歳代2件、40歳代1件であった。

〈四類感染症〉

マラリア 1件 熱帯熱マラリアで、推定感染地はナイジェリアであった。

レジオネラ症 1件 ボンティアック型で、年齢は50歳代。推定感染地は国内(静岡県)で、温泉からの感染が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 全て腸管アメーバ症で、推定感染地は国内2件、マレーシア(クアラルンプール)1件、推定感染経路は飲食物(水)による経口感染1件、性的接触(同性間)1件、その他(不明)1件であった。

後天性免疫不全症候群 11件 無症候キャリア6件、AIDS2件、その他3件で、無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代1件、30歳代5件、40歳代1件、50歳代1件、60歳代1件、AIDS患者の年齢は30歳代1件、50歳代1件であった。推定感染地は国内9件、不明2件、推定感染経路は性的接触10件(同性間8件、異性間2件)、性的接触及び静注薬物使用1件であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はブルキナファソで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

梅毒 1件 無症候で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 創部感染症の症状を呈し、膿から菌が分離・同定されている。

麻しん 1件 修飾麻しん(検査診断例)で、年齢は30歳代、麻しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

新型インフルエンザ 216件 患者(確定例)51件、疑似症165件で、年齢は10歳未満100件(うち5歳未満35件)、10歳代73件、20歳代24件、30歳代13件、40歳代3件、50歳代1件、60歳代1件、80歳代1件であった。

※第31週該当分として、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 15件(全て疑似症)、第32週該当分として、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 36件(確定例10件、疑似症26件)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年33週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		30週	31週	32週	33週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	7	7	19	15	0.12	130	150
	咽頭結膜熱	35	39	24	14	0.11		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	119	95	86	50	0.38		
	感染性胃腸炎	437	459	404	218	1.68		
	水痘	79	81	74	44	0.34		
	手足口病	187	293	276	176	1.35		
	伝染性紅斑	31	45	41	14	0.11		
	突発性発しん	94	92	103	78	0.60		
	百日咳	9	2	8	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	167	257	286	183	1.41		
	流行性耳下腺炎	144	126	139	80	0.62		
	不明発しん症 (注1)	25	26	33	29	0.22		
MCLS(川崎病) (注1)	2	2	1	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	82	277	466	545	2.14	255	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	2	0	0	0.00	34	39
	流行性角結膜炎	11	17	21	6	0.18		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	0	1	1	0	0.00	24	24
	無菌性髄膜炎	0	2	2	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	5	10	8	5	0.21		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	0.04		

2009/8/19集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・手足口病の定点当たり報告数は2週連続して減少した。
- ・ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。しかし今年に入ってから過去5年平均と比較して高いレベルで推移している。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は増加した。感染症法施行(1999年)以来、同時期としては最も報告数が多く、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年33週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3			4				5		1
～11か月	3		2	20	4	23		25		16
1歳	5	5		41	13	58		42		54
2歳	2	5	1	26	7	39		3		36
3歳		1	2	21	4	15	2	3		30
4歳		3	5	19	5	18	1			17
5歳	1		6	7	6	6	3			13
6歳			8	9	1	6				6
7歳			6	10	1	1	2			3
8歳			3	5	1	1	4			
9歳			3	7	1	2				2
10～14歳			8	18	1	5			1	2
15～19歳			2	5						1
20～29歳	1		4	26		2	2		2	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	15	14	50	218	44	176	14	78	3	183
先週比	-4	-10	-36	-186	-30	-100	-27	-25	-5	-103

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		1		
～11か月		3		4		
1歳	6	11	1	9		
2歳	9	4		16		
3歳	14	3		16		
4歳	7	2		21		
5歳	12	1		25		
6歳	6	1		16		
7歳	7			26		
8歳	4	1		25		
9歳	3	1		23		
10～14歳	10			121		
15～19歳				72		
20～29歳	2	1		73		1
30～39歳				39		
40～49歳				34		
50～59歳				17		1
60～69歳				5		2
70～79歳				2		2
80歳以上						
合計	80	29	1	545		6
先週比	-59	-4		79		-15

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2009年33週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		1
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年33週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				1		10				1
中央区					1	5		3		6
みなと		6	2	10		13		2		16
新宿区		1		4	1	5		2		17
文京	1			4		6	1			1
台東	1			1		3		6		1
墨田区			1	1	1	4		2		4
江東区				19	1	2		2		6
品川区				13	6	7	1	3		1
目黒区			1			1		1		
大田区	2		1	10	1	7	1	2	1	7
世田谷			3	8	1	3		2		5
渋谷区		1		4		4	1			4
中野区			2	23	1	18		1		3
杉並				4				1		
池袋			3	4		1		2		1
北区				5	1	2	1	1		2
荒川区				1				1		
板橋区		1		5		3				1
練馬区			1	2	2	11		4	1	7
足立		1	1	8	3	5		13		
葛飾区			1	2	7	15		6		7
江戸川	3	2	5	1	2	11	1	5		22
八王子市			4	33	1	13	1	5		15
西多摩		1		7	7	4			1	2
南多摩			5	3	2	4	1	4		5
町田			12	13		4	2	2		15
多摩立川		1	2	5	2	7		1		10
多摩府中			1	8	1	5	1	1		9
多摩小平	8		5	19	3		3	6		14
島しょ						3				1
東京都合計	15	14	50	218	44	176	14	78	3	183

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年33週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2		
中央区				4		
みなと	2			6		
新宿区		1		17		4
文京				10		1
台東				3		
墨田区	1			8		
江東区		1		18		
品川区				15		
目黒区				4		
大田区	5	6		22		
世田谷		3		56		
渋谷区	1			6		1
中野区	2	1		23		
杉並				5		
池袋	2			7		
北区				4		
荒川区				1		
板橋区	3			16		
練馬区	1			15		
足立	2	2		8		
葛飾区	2	2		35		
江戸川	5			48		
八王子市	9	3		27		
西多摩	11			23		
南多摩	3			50		
町田	16	8		13		
多摩立川	5	1		20		
多摩府中	4	1	1	44		
多摩小平	4			26		
島しょ	2			9		

東京都合計	80	29	1	545	-	6
-------	----	----	---	-----	---	---

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		1
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計		1
-------	--	---

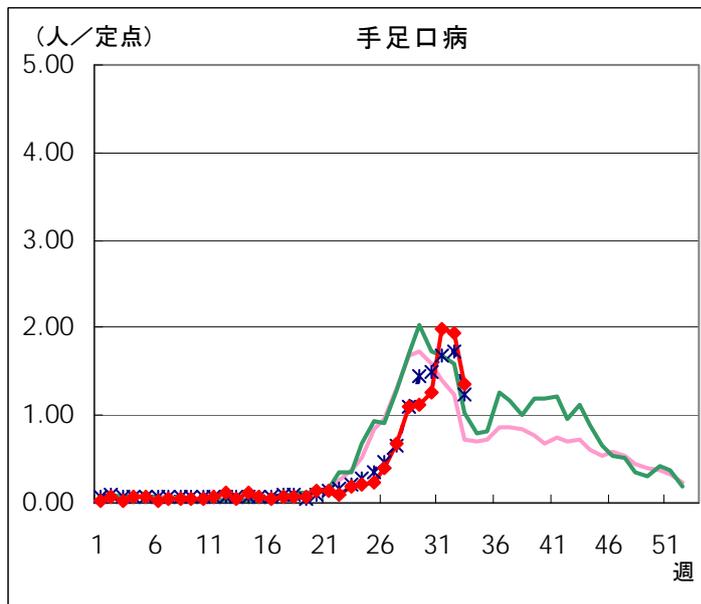
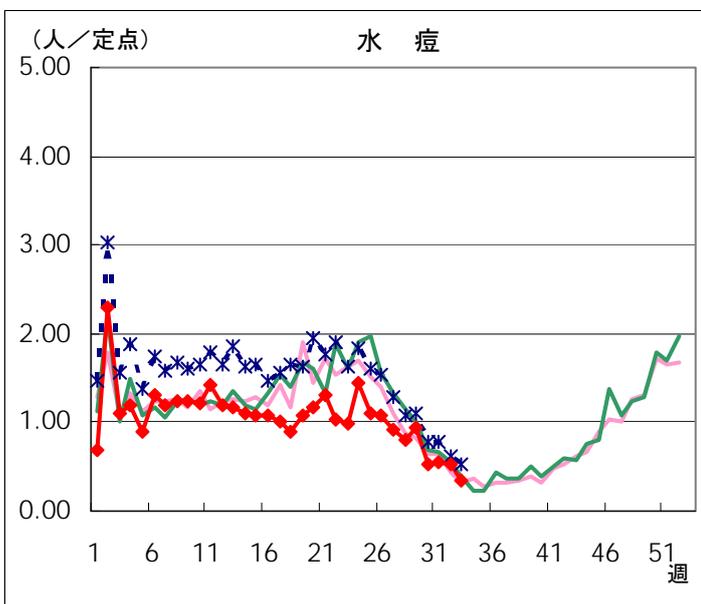
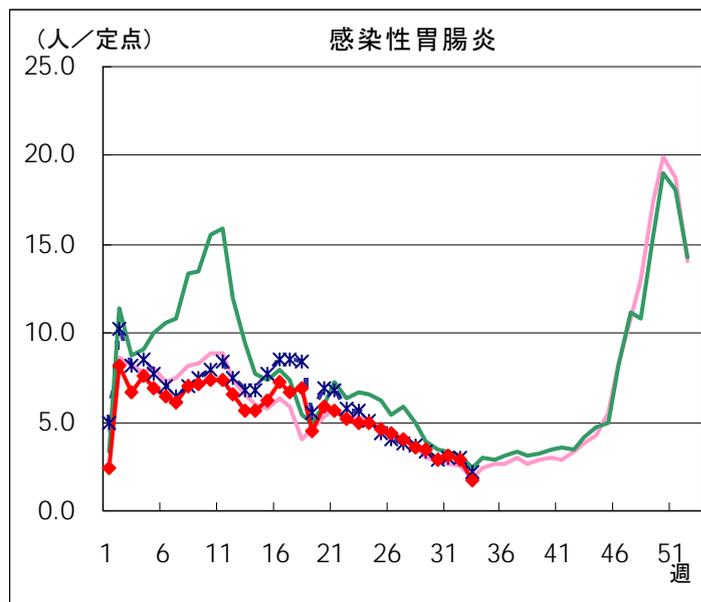
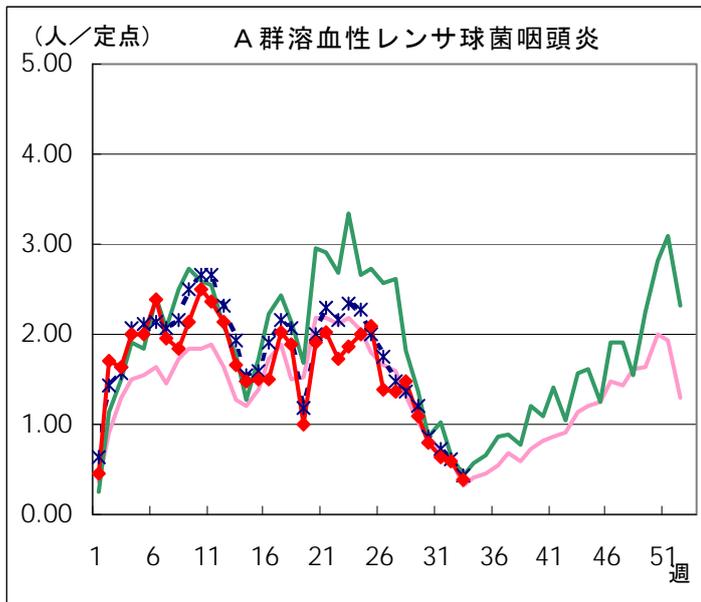
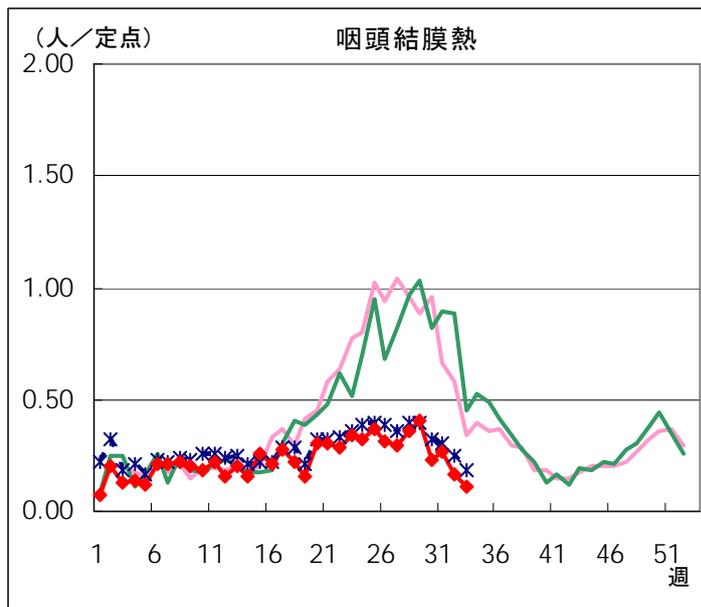
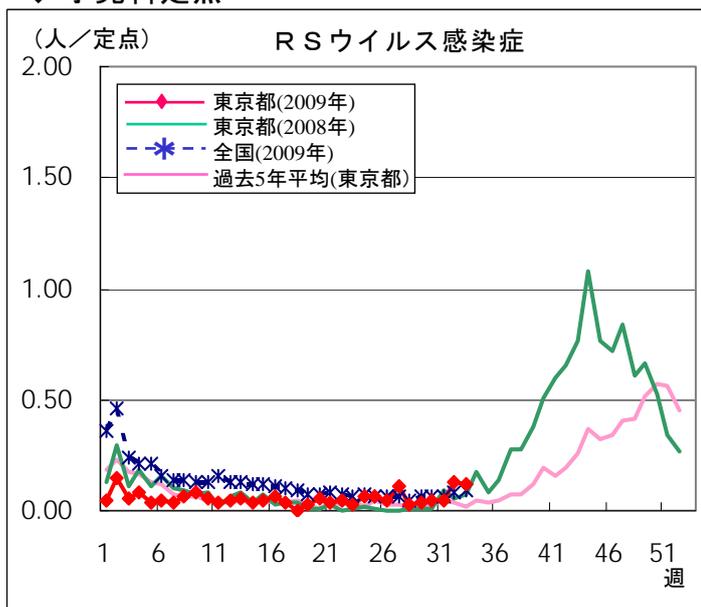
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年33週

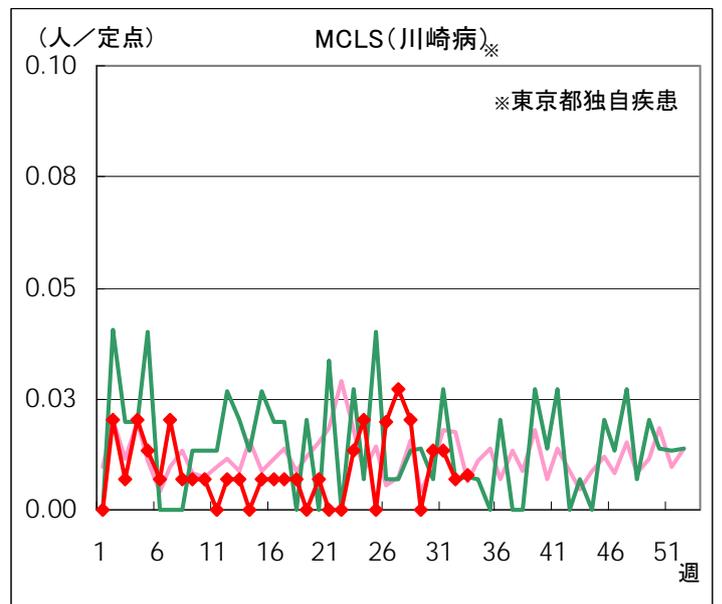
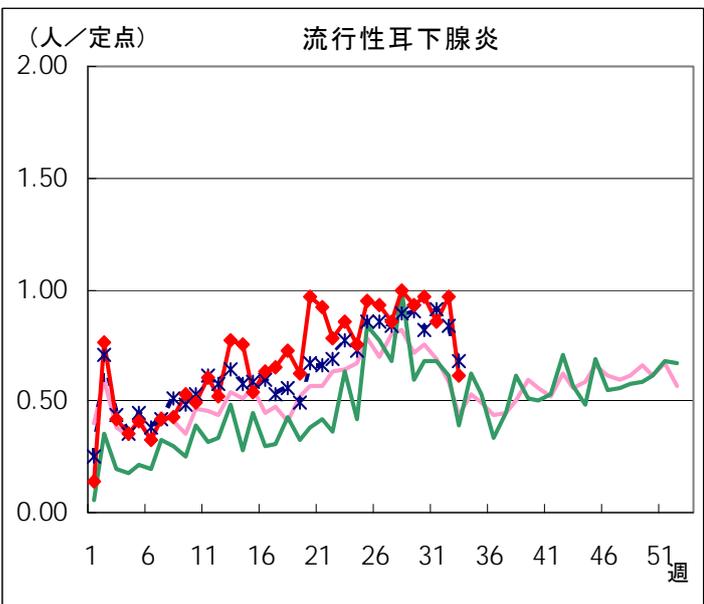
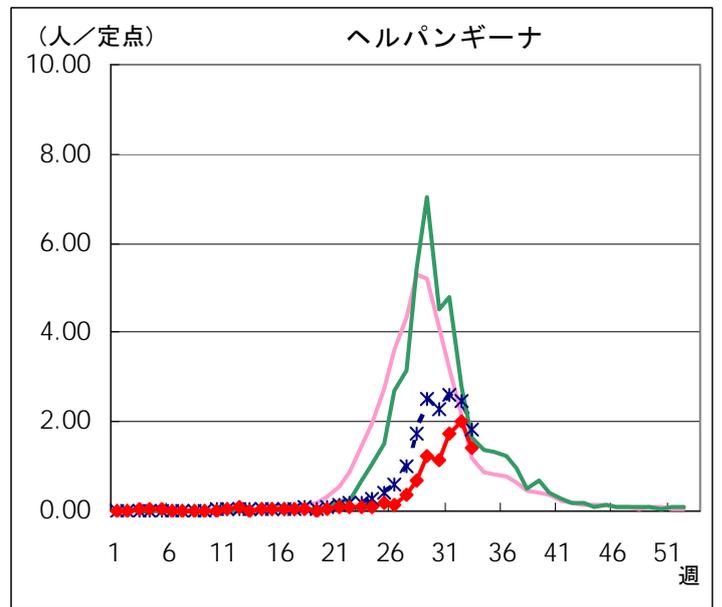
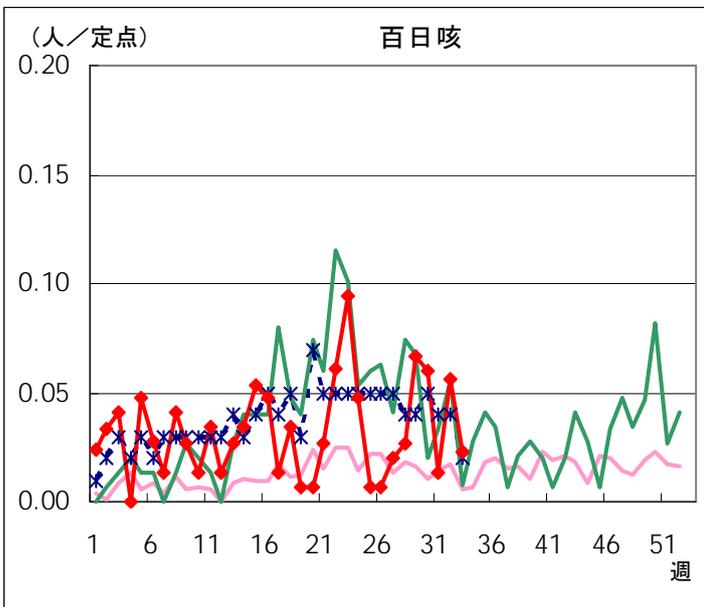
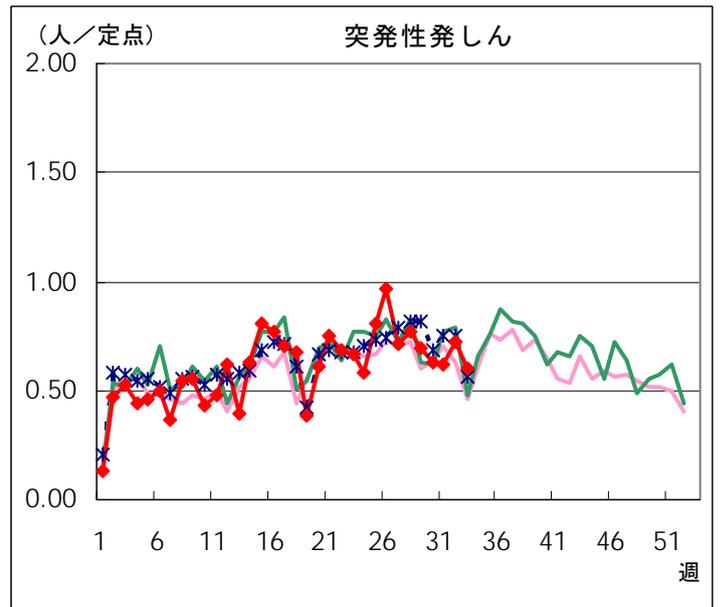
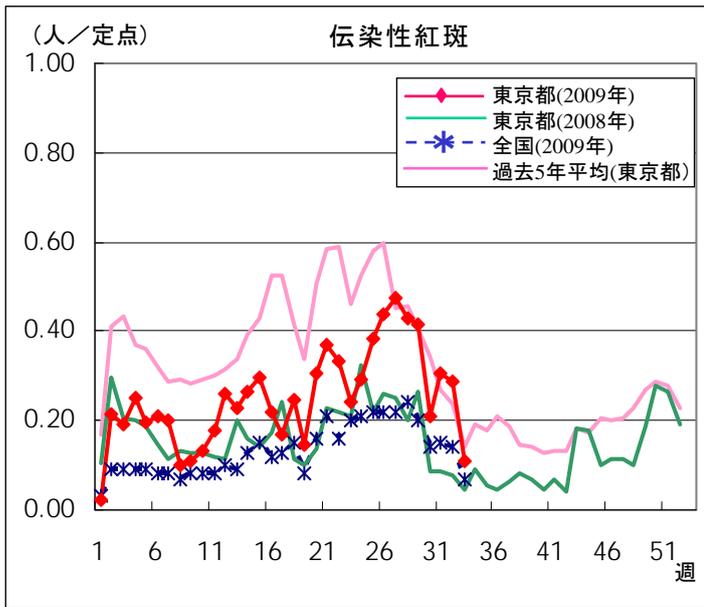
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				0.33		3.33				0.33
中央区					0.33	1.67		1.00		2.00
みなと		1.00	0.33	1.67		2.17		0.33		2.67
新宿区		0.17		0.67	0.17	0.83		0.33		2.83
文京	0.33			1.33		2.00	0.33			0.33
台東	0.33			0.33		1.00		2.00		0.33
墨田区			0.33	0.33	0.33	1.33		0.67		1.33
江東区				6.33	0.33	0.67		0.67		2.00
品川区				3.25	1.50	1.75	0.25	0.75		0.25
目黒区			0.33			0.33		0.33		
大田区	0.33		0.17	1.67	0.17	1.17	0.17	0.33	0.17	1.17
世田谷			0.60	1.60	0.20	0.60		0.40		1.00
渋谷区		0.33		1.33		1.33	0.33			1.33
中野区			0.33	3.83	0.17	3.00		0.17		0.50
杉並				2.00				0.50		
池袋			1.00	1.33		0.33		0.67		0.33
北区				1.25	0.25	0.50	0.25	0.25		0.50
荒川区				0.50				0.50		
板橋区		0.17		0.83		0.50				0.17
練馬区			0.20	0.40	0.40	2.20		0.80	0.20	1.40
足立		0.20	0.20	1.60	0.60	1.00		2.60		
葛飾区			0.33	0.67	2.33	5.00		2.00		2.33
江戸川	0.75	0.50	1.25	0.25	0.50	2.75	0.25	1.25		5.50
八王子市			1.33	11.00	0.33	4.33	0.33	1.67		5.00
西多摩		0.20		1.40	1.40	0.80			0.20	0.40
南多摩			1.25	0.75	0.50	1.00	0.25	1.00		1.25
町田			3.00	3.25		1.00	0.50	0.50		3.75
多摩立川		0.17	0.33	0.83	0.33	1.17		0.17		1.67
多摩府中			0.10	0.80	0.10	0.50	0.10	0.10		0.90
多摩小平	1.33		0.83	3.17	0.50		0.50	1.00		2.33
島しょ						3.00				1.00
東京都	0.12	0.11	0.38	1.68	0.34	1.35	0.11	0.60	0.02	1.41

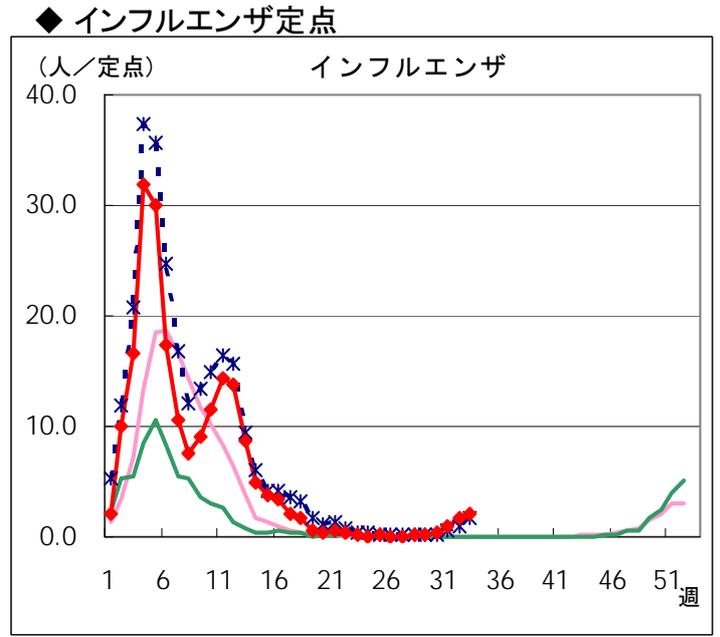
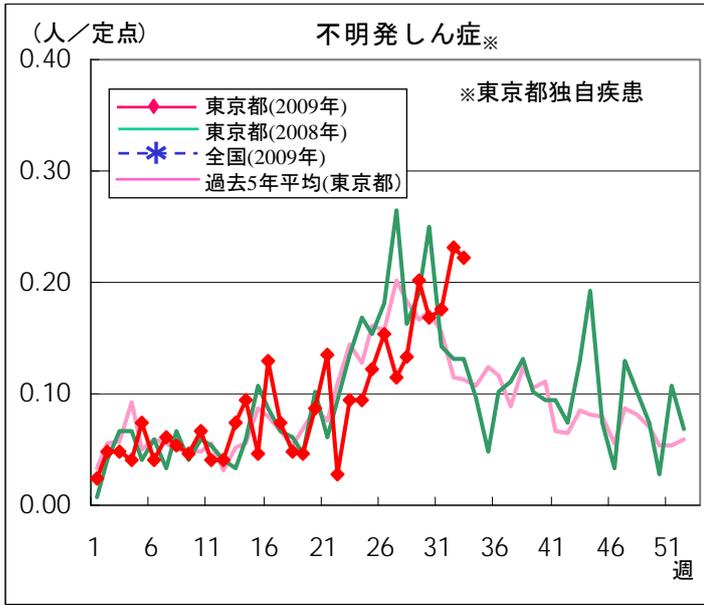
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.67		
中央区				1.00		
みなと	0.33			0.75		
新宿区		0.17		2.13		2.00
文京				2.00		1.00
台東				0.60		
墨田区	0.33			1.33		
江東区		0.33		3.60		
品川区				2.14		
目黒区				0.67		
大田区	0.83	1.00		1.69		
世田谷		0.60		5.09		
渋谷区	0.33			1.20		
中野区	0.33	0.17		2.56		
杉並				0.63		
池袋	0.67			1.17		
北区				0.57		
荒川区				0.25		
板橋区	0.50			1.33		
練馬区	0.20			1.25		
足立	0.40	0.40		0.67		
葛飾区	0.67	0.67		5.00		
江戸川	1.25			4.80		
八王子市	3.00	1.00		3.38		
西多摩	2.20			2.56		
南多摩	0.75			5.56		
町田	4.00	2.00		1.63		
多摩立川	0.83	0.17		1.67		
多摩府中	0.40	0.10	0.10	2.20		
多摩小平	0.67			1.86		
島しょ	2.00			4.50		
東京都	0.62	0.22	0.01	2.14	-	0.18

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年33週現在

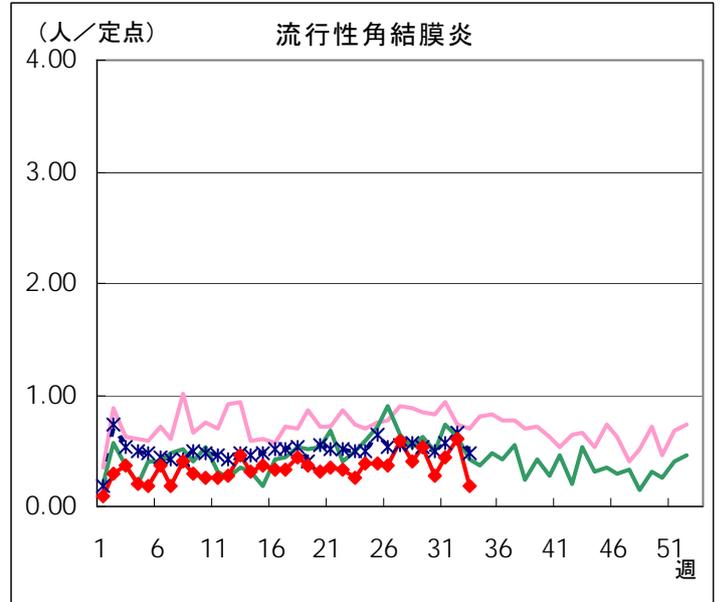
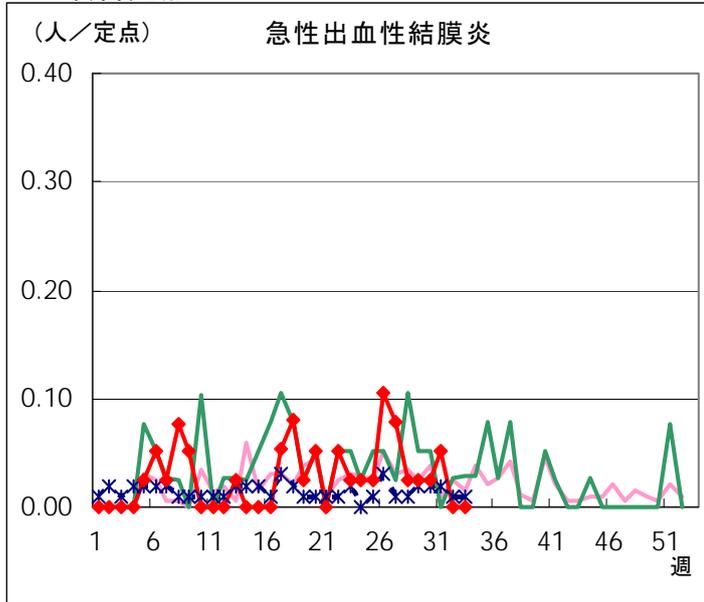
◆ 小児科定点



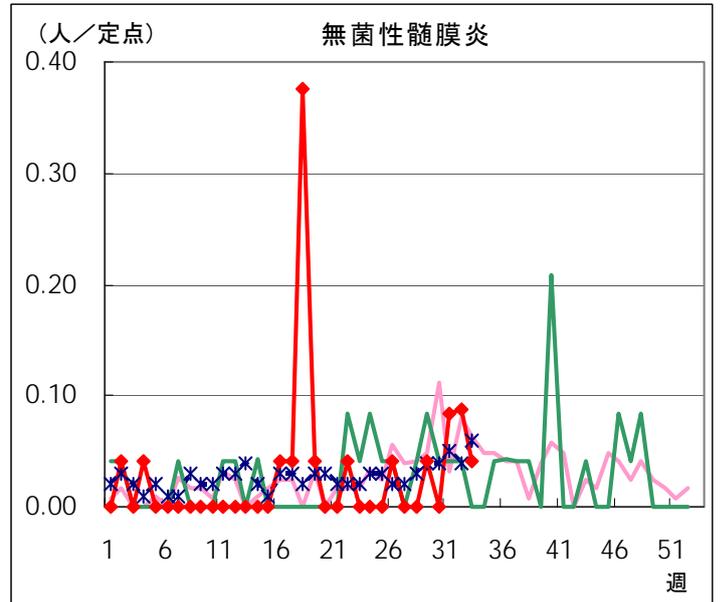
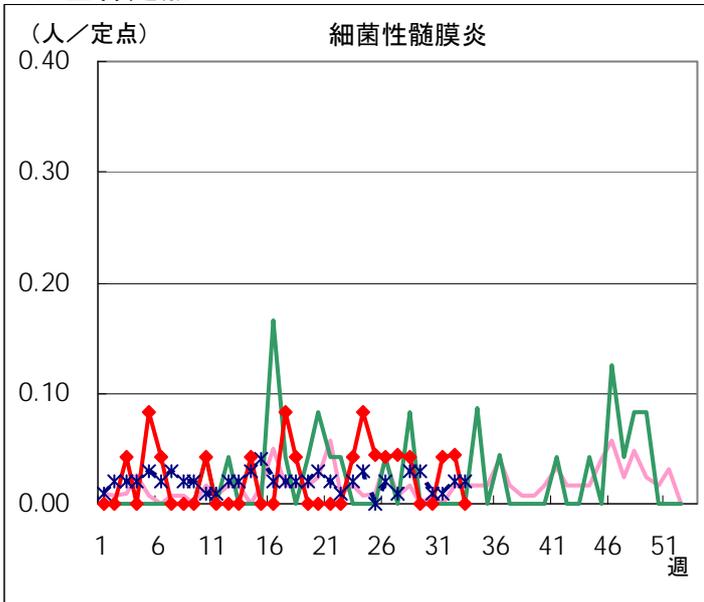


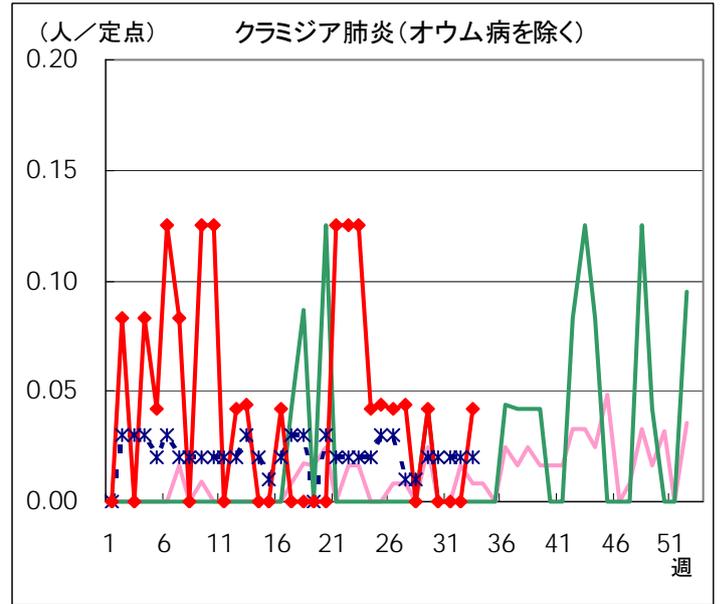
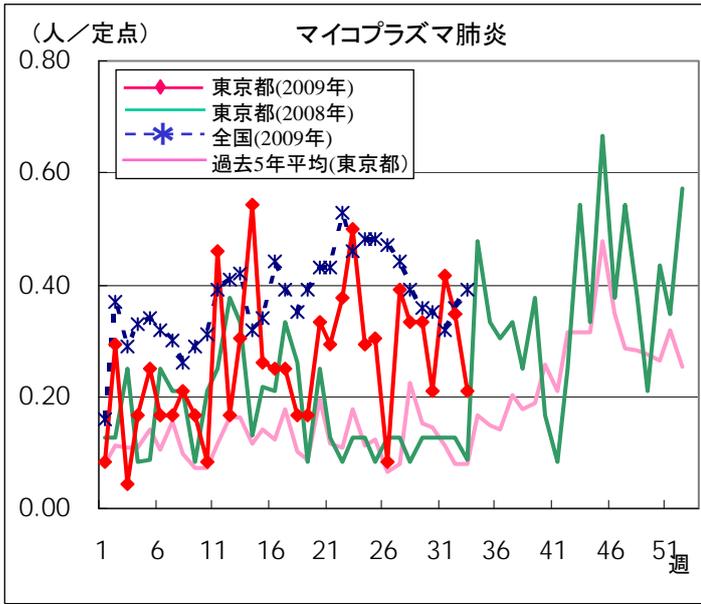


◆ 眼科定点

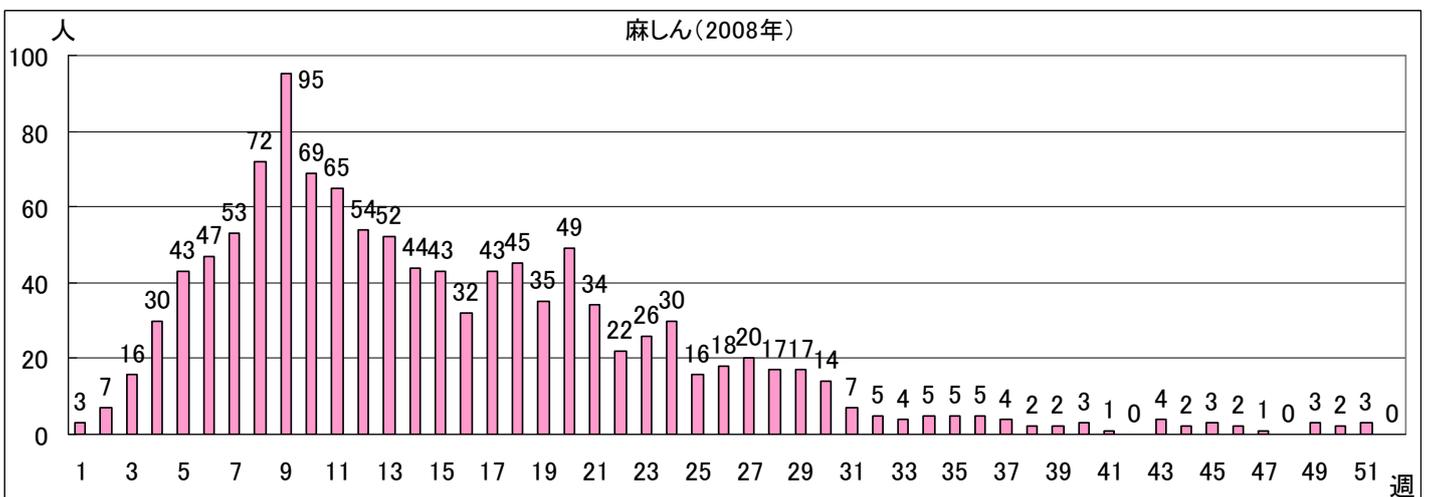
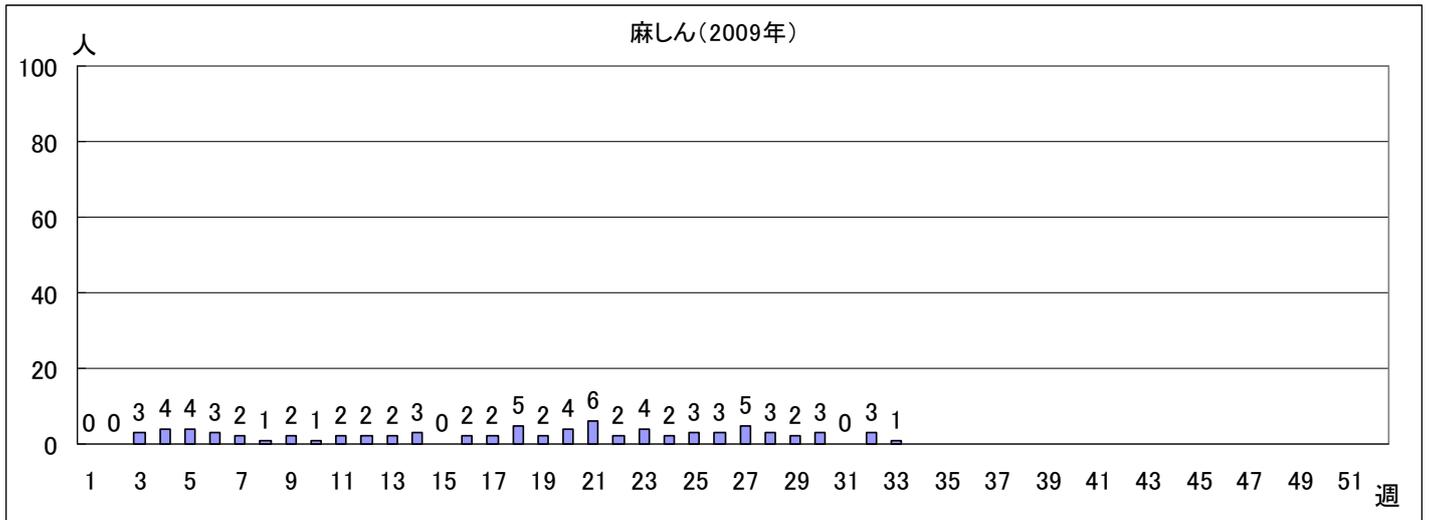


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年33週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	3		
新宿区	4		
	4		
江東	4	1	
	12		
品川区	1		16歳。
目黒区	2		
	1		
大田区	1		
	4		単発のインフルエンザA型。
	2		
	3		
世田谷区	3		
	1		16歳。
	1		上海帰り。消化器症状(下痢)強く、新型インフルエンザの可能性大。
渋谷区	1		13歳。
	1		
中野区		1	13歳。
	7		
	9		A型B型同時感染1名。
	2		
	1		
杉並	2		
	2		
池袋	3		
北区	1		
	1		
西多摩	1		
	2		学校で新型インフルエンザ集団発生の報告。
	2		
	9		
	1		
	2	1	B型:20-29歳

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
南多摩	2		型不明1名。
	7		
	18		すべてA型（野球チームの子供たちと保護者数名）。
	5		
	15	1	B型:2歳1名。他はA型。
町田	3		
多摩立川	1		
	1		保育園児。
多摩府中	1		
八王子市	3		
	6		
	2		
	11		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
6/30	溶連菌感染症	8	菌株(咽頭由来)	S.pyogenes	血清型
6/30	溶連菌感染症	8	菌株(咽頭由来)	MRSA(コアグララーゼV型)	
7/1	溶連菌感染症	5	菌株(咽頭由来)	S.pyogenes(T-6型)	
7/8	溶連菌感染症	6	菌株(咽頭由来)	S.pyogenes(T-28型)	
7/21	伝染性膿痂しん	1	菌株(咽頭由来)	MRSA(コアグララーゼV型)	
7/31	結膜炎	35	結膜拭い液	アデノウイルス	遺伝子
7/31	肺炎	1	咽頭拭い液	新型インフルエンザウイルス エンテロウイルス	
8/3	肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/3	汎血球減少症	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	蕁麻疹	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/3	流行性耳下腺炎、髄膜炎	4	咽頭拭い液	ムンプスウイルス	
8/3	マイコプラズマ肺炎	5	咽頭拭い液	マイコプラズマ	
8/3	不明発しん	8M	鼻汁	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス7型	
8/4	不明発しん症	6	咽頭拭い液	パルボウイルスB19	
8/5	髄膜炎	19	髄液	エンテロウイルス、アデノウイルス	
8/5	髄膜炎	0	髄液	エンテロウイルス	
8/7	不明発しん	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/7	不明発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス7型 サイトメガロウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)
32週	0	0	0	21
今シーズン累計	223	111	102	43

*AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

8/19現在

調査方法	A/H1N1分離株 (Aノ連型)	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		25週	26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週
ウイルス	アデノウイルス	7	8	13	4	6	4	4	3
	ライノウイルス	3	1	4	4	6		1	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	3	5	5	16	5	5	18	6
	単純ヘルペスウイルス			1	5		1		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	10	3	6	5	3	1	6	2
	EBウイルス	3	5	2	4	3	1	2	
	サイトメガロウイルス					1			1
	ムンプスウイルス		2	2	1	5	3	2	1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19				1			1	1
	RSウイルス						1	1	
	ノロウイルス							1	
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm				1	3		18	21	
デングウイルス(抗体を含む)		1							
その他のウイルス	4	7	12	13	1	9	3		
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	1		5	1				3
	その他の細菌		1	3	2			2	3
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年25週～2009年32週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	49	47	78	26	65	8	7	6	4	8	1	33	10				152	
ウイルス	アデノウイルス		6	10	3	1	2	3		1		9	1				13	
	ライノウイルス		1	4	1		1					3	3				7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	11	9	3	12	1		1	5		6	1					13
	単純ヘルペスウイルス		3			1			2	1								
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		2	3		1						13	1					16
	EBウイルス		1			3			1			6	5					4
	サイトメガロウイルス											1						1
	ムンプスウイルス					9								5				2
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス			2														
	ノロウイルス				1													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	38	1	3														1	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		12	27	2		1											7	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		4					4										2
その他の細菌		4	3	1			1										2	
その他の病原体																		